

うめきた 2 期におけるイノベーション支援の役割を担う U-FINO 設立を記念して、

U-FINO 設立記念イベントを開催

一般社団法人うめきた未来イノベーション機構（以下、「U-FINO」）は、2023年2月18日(土)～22日(水)にかけて、“うめきた楽市・楽座～イノベーションで拓く関西の未来～”をスローガンに **U-FINO 設立記念イベント**（以下、「本イベント」）を開催いたします。

U-FINO は、うめきた 2 期のまちづくりの目標である『「みどり^{※1}」と「イノベーション」の融合拠点』の実現のため、まちの中核機能である新産業創出に向けて、「うめきた 2 期みどりイノベーションの融合拠点形成推進協議会^{※2}（以下、「協議会」）」において約 5 年間活動してきた知見を活かし、大阪府、大阪市、公益社団法人関西経済連合会及び大阪商工会議所も参画し、うめきた 2 期開発事業者^{※3}、行政、経済界が官民一体で、新技術を持つ研究者や事業者などの多様な人材を繋げ、プロジェクト創出などをコーディネートする組織として設立しました。

本イベントの核となる設立記念シンポジウムでは、慶應義塾大学環境情報学部教授、Z ホールディングス株式会社シニアストラテジストの安宅和人氏をお招きした基調講演などを行います。その他、協議会にて先行して実施していたイノベーションストリーム KANSAI、うめきた響合の場、Medtech Connect Osaka、Ex-CROSS in うめきた外庭 SQUARE（以下、「Ex-CROSS」）等のイベントを U-FINO 事業として実施し、U-FINO が持つべき必要な機能のアイデアを集め、U-FINO への期待を関係者間で共有することを目指します。

<本イベント開催概要>

開催日程：2023年2月21日(火)・22日(水)（Ex-CROSS：2月18日(土)）

場 所：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター（Ex-CROSS：うめきた外庭 SQUARE）

※2月21日(火)は国際イノベーション会議 Hack Osaka2023 を同日開催予定

（Hack Osaka2023 公式サイト：<https://www.innovation-osaka.jp/hackosaka/>）

主 催：U-FINO

後 援：うめきた 2 期開発事業者、大阪府（予定）、大阪市（予定）、
公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所

特別協力：一般社団法人コ・クリエーションジェネレーター^{※4}

協 力：一般財団法人大阪科学技術センター、独立行政法人都市再生機構

参加方法：U-FINO 公式サイトより要申込 ※2023年1月中旬より申し込み開始予定

参加費：無料

U R L：<https://u-fino.com/> ※内容は変更になる可能性があります。最新情報は公式ウェブサイトをご参照ください。

※1：誰もが容易にアクセスできる緑豊かなオープンスペースのこと。うめきた 2 期の「みどり」は都市の品格や街の魅力を高め、大阪を世界水準の都市空間を持つ世界都市に引き上げるきっかけとなり、世界中から資本や優秀な人材を集積させ、創造的・革新的な変化（イノベーション）を生み出します。

※2：構成団体は大阪府、大阪市、公益社団法人関西経済連合会、大阪商工会議所、独立行政法人都市再生機構、一般財団法人大阪科学技術センター、オリックス不動産株式会社、阪急電鉄株式会社

※3：三菱地所株式会社を代表とする事業者 JV（大阪ガス都市開発株式会社、オリックス不動産株式会社、関電不動産開発株式会社、積水ハウス株式会社、株式会社竹中工務店、阪急電鉄株式会社、うめきた開発特定目的会社（出資者 株式会社大林組））

※4：事業者 JV が社員となり、U-FINO とともに設立したイノベーション支援施設の管理・運営を行う組織

設立記念シンポジウム概要

●U-FINO 設立記念シンポジウム

設立記念シンポジウムでは、「うめきた楽市・楽座」のスローガンのもと、基調講演として安宅和人氏をお招きし、日本の置かれている現状について「残すに値する未来を考える」というタイトルでお話しいただくほか、パネルディスカッションでは、神戸大学大学院経営学研究科教授の忽那憲治氏をモデレーターとして、多様なプレイヤーの方々と議論を通じて、新たに設立された U-FINO が関西の未来に向けて、どのような役割を果たすべきか、登壇者の方からのアイデアをもとに、参加者・関係者間で理解・共有することを目標とします。

<基調講演>

登壇者：安宅和人氏

慶應義塾大学環境情報学部 教授、Z ホールディングス株式会社 シニアストラテジスト

マッキンゼーを経て、2008 年からヤフー。前職ではマーケティング研究グループのアジア太平洋地域中心メンバーの一人として幅広い商品・事業開発、ブランド再生に関わる。2012 年より CSO、2022 年より Z ホールディングス シニアストラテジスト。全社横断的な戦略課題の解決、事業開発に加え、途中データ及び研究開発部門も統括。2016 年より慶應義塾 SFC で教え、2018 年秋より現職。総合科学技術イノベーション会議(CSTI)専門委員、内閣府デジタル防災未来構想チーム座長、教育未来創造会議 委員、新 AI 戦略検討会議委員ほか公職多数。データサイエンティスト協会理事・スキル定義委員長。一般社団法人 残すに値する未来 代表。イェール大学脳神経科学 PhD。著書に『イシューからはじめよ』（英治出版）、『シン・ニホン』（NewsPicks）ほか

<パネルディスカッション>

モデレーター：忽那憲治氏

神戸大学大学院 経営学研究科 教授（科学技術研究科イノベーション研究科 教授 兼務）

大阪市立大学経済研究所専任講師、助教授、神戸大学大学院経営学研究科助教授を経て、2005 年より現職。専門は、アントレプレナーファイナンス、アントレプレナーシップ、イノベーション。株式会社科学技術アントレプレナーシップの取締役、株式会社イノベーション・アクセルの取締役、株式会社産業革新投資機構の社外取締役を務める。

各プログラム概要

本イベントでは、設立記念シンポジウムとあわせて、協議会から U-FINO に継承された各事業を本イベントのプログラムとして実施いたします。設立記念シンポジウムに先立ち、うめきた外庭 SQUARE にて Ex-CROSS を開催する他、イノベーションストリーム KANSAI、うめきた響合の場、Medtech Connect Osaka 等を実施いたします。

●体験型イノベーションショーケース Ex-CROSS in うめきた外庭 SQUARE

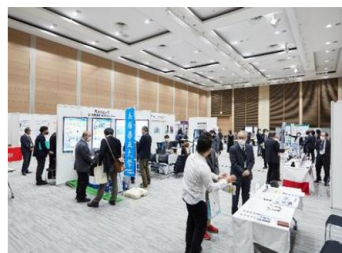
アスリートデモや競技体験、体験型ショーケースなどのプログラムを通じて、みどりの実証フィールドを想起させ、一般市民のイノベーションへの参加を促進し、スポーツ・ウェルネス産業のすそ野拡大と健康寿命促進にかかる社会課題の解決を実現する、スポーツ・ウェルネス共創コミュニティの形成を目指します

※うめきた外庭 SQUARE にて 2 月 18 日(土)に実施いたします。



● 大学・研究機関の最先端技術・サービスの成果発信とセミナー **イノベーションストリーム KANSAI**

うめきた 2 期のコンセプトを踏まえて、関西の大学、研究機関等による最先端の技術やサービスを発信する展示会と、コンセプトに沿ったセミナーなどを組み合わせて開催します。協議会での開催から数えて 6 回目となる今回の開催は、リアル開催を中心にハイブリッドで開催します。関西で取り組まれているイノベーション創出に向けた取り組みの紹介や大学・研究機関の最新の技術に触れていただくことで、うめきた 2 期で目指す取り組みを先行的に体験していただきます。



● 大企業・スタートアップ・支援機関とのマッチング **うめきた響合の場**

うめきた 2 期が多様なシーズと支援リソースを繋ぎ、イノベーションの事業化を支援するハブ機能を発揮するための実証です。大企業・大学等のオープンイノベーション部門や支援機関の窓口が、縁日の“出店(でみせ)”のように集まる場を設けます。そこにスタートアップ等の皆さまがアイデアやシーズ、相談を持ち込むことができる新しいマッチングイベントです。



● 健康・医療分野のエコシステム間連携国際シンポジウム **Medtech Connect Osaka**

Medtech Connect は、これまで米国、シンガポール、台湾で開催されており、日本においては、2019 年に大阪で開催されて以来 3 回目となります。デジタル化や世界規模の新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、急激に大きな変革期を迎えている、医療・ヘルスケア分野において、日本がさらに国際競争力を高めていくためにもこの分野において新たな価値を生み出すような研究開発やスタートアップの育成をグローバルの視点で推進していくことが急務であります。



今回の Medtech Connect Osaka では、「未来の健康・医療をかたちづくるイノベーション創出に向けた日本の挑戦」をテーマに、国内外の様々なバックグラウンドを持つ講師をお招きし、先端医療の実現における課題や先進的な取り組みを議論します。

※本リリースの記載内容は、今後の検討・協議等により、変更となる場合があります。

【（参考）中核機能運営法人概要】

名 称	一般社団法人うめきた未来イノベーション機構 	一般社団法人コ・クリエーションジェネレーター (CCG)
役 割	官民一体によるイノベーション支援組織	イノベーション支援施設の管理・運営組織
設 立 日	2022年9月13日	
所 在 地	大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル内 (先行まちびらき後は中核施設で活動予定)	
事業内容	社会課題の解決や新産業創出に向け、「情報」・「人」・「技術」などをうめきた 2 期に集めることで、新しい製品・サービスやビジネスが生まれるエコシステムを構築し、大阪・関西におけるイノベーション創出を推進することをビジョンとし、当該ビジョン実現のため、ハブ機能の発揮、エコシステムの強化といった役割を果たすべく、官民一体組織の特性や強みを活かし、次の事業を行う。 (1)人材・企業が集積・交流することで創出された事業化プロジェクトが循環するためのハブ機能を構築する事業 (2)イノベーション創出につながる外部組織などエコシステムを形成する各種機関との連携を強化する事業 (3)その他前各号に附帯または関連する事業	うめきた 2 期地区開発事業における中核機能の持続的な成長を目的とし、その目的に資するため、以下の事業を行う。 (1)不動産の賃貸借、管理・運営事業 (2)会員制サロンの運営事業 (3)飲食・ショップ運営事業 (4)イノベーション創出支援事業 (5)広報・プロモーション事業 (6)その他これらに附帯または関連する事業
社員構成 (基金拠出者)	三菱地所株式会社／大阪ガス都市開発株式会社／オリックス不動産株式会社／ 関電不動産開発株式会社／積水ハウス株式会社／株式会社竹中工務店／ 阪急電鉄株式会社／株式会社大林組	
役員構成	【代表理事】 中沢 則夫 【理 事】 関 総一郎 (公益社団法人関西経済連合会 専務理事) 宮城 勉 (大阪商工会議所 専務理事) 尾花 英次郎 (大阪府・大阪市大阪都市計画局 技監) 諸富 隆一 (阪急電鉄株式会社 取締役) 高橋 豊典 (オリックス不動産株式会社 専務執行役員) 【監 事】 阿部 孝次 (公益社団法人関西経済連合会 常務理事・事務局長)	【代表理事】 高橋 豊典 (オリックス不動産株式会社 専務執行役員) 【理 事】 諸富 隆一 (阪急電鉄株式会社 取締役) 木村 透 (三菱地所株式会社 執行役常務) 【監 事】 内村 幸夫 (オリックス不動産株式会社)